

感謝状

3月末に行方正一さん（谷台）が行政相談委員を退任されました。永年にわたり委員として行政相談制度の発展に尽力されたことにに対し、総務大臣から感謝状が贈呈されました。



行方正一さん



加瀬正さん

永年保護司を務められた加瀬正さん（栗山）が退任され、犯罪の防止や非行少年の更生と地域社会浄化に尽くされたことに對し、法務大臣から感謝状が贈呈されました。

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

二日まえ猫たむれし田今日植田

葛蒲湯や古来の行事と高齢者

桑名 大行

長寿乞う葛蒲鉢巻早湯かな

五月晴れ山の瑞飾る鯉幟

長谷川正子

畔に座し植田眺むる老農婦

湯上りや肌に染み込む葛蒲の香

今関満喜子

昨日より今日は濃くなり植田いろ

終い湯に葛蒲の束を攫ひけり

福田 幸子

山や雲映して植田展がれり

植田はや流れの筋の生まれけり

玉虫 栗扇

子どもの日婆々はおどけて大漁節

青葉風足の悪いも忘れさせ

若梅あやめ

亡き父の日々見廻りし稲田かな

葛蒲湯にはしやし子等の昔あり

選者 藤代 ゆう

ひこばえ俳句会（互選句）

懐かしむ柱の疵や子供の日

浅野 茂子

桜舞ひ修道院へ道遠し

池田 逸子

春泥の一片拾ふ三和土かな

伊藤 敬子

母の日やメールで届く感謝状

魚地 照子

田植えの子募る看板道の駅

川島 孝夫

八重桜散りて積もれり女坂

向後 寛

つばくろの電線会議朝の膳

小松 藤男

耳鳴りを押し分けて入る初音かな

佐瀬 輝夫

菜の花やかくれんぼする子の背丈

安倉 道子

目には青葉無頼の味や昼の酒

早川 勇

白牡丹息づく花の噎せるごと

布施 和代

初節句浮かれてばばも大漁節

若梅あやめ

大道芸ミスに喝采子供の日

渡部 和秋

短歌

学ぶ子を守り続ける樟大樹

大総小にそそり立ちらつ

萩原 信一

道に沿ひ植ゑし桜の木も育ち

花咲きみりて朝の日をうけ

永藤 滋

一升餅背負はされたる曾孫が

「あんよは上手」と囁され歩く

吉岡 信子

止みそふで止まぬ春雨買ひ物に

ゆく気をそがれ半日過こす

八角 三枝

四月から中学生となりし孫

制服姿の馴染みきにけり

鈴木 やす

独り身の息を持つ我と子供なき

友と互に励ましてきぬ

池田 春江

黄の花のひゅうがみづき咲く見つつ

春の陽のさす丘下りゆく

秋葉 悦子

日に幾度テレビは映す桜花

日本に平和長く続けよ

佐瀬 初音

たらの芽と山独活摘みて久々に

姉妹集ひて山菜パーティー

田崎 尚美

花散らしの雨とは言へど我が播きし

畑のもろこしはつか芽吹けり

押尾 輝子

新緑の過ぎ去りてゆく山里を

歩みゆきたし車を降りて

長谷川正子

夜の空を画布とし桜浮きたらぬ

提灯ともる広き公園

上総 晴子

満開の桜に出会ふはなつかしき

人に会ひたる心地するなり

西山満里子

歯が痛み臥す枕辺を春の風

障子に木影ゆらし過ぎゆく

芹川 初子

横芝に左千夫の母も妻も生れ

両家の齋は栄えぬませり

選者 斎藤つね子